

模擬委員会 指導案

(1) 単元名 大項目C「私たちと政治」 中項目(2)民主政治と政治参加

(2) 単元の指導目標

- ア 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みやあらまし、政党の役割や議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解する。
- イ 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙などの国民の政治参加との関連について、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。
- ウ 国政に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

(3) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みやあらましを理解している。 ②議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。	①対立と合意、公立と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成など国民の政治参加と関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	①民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

(4) 本単元で身に付けさせたい資質・能力

共生力

(5) 単元指導計画と評価計画

時	学習内容	指導上の留意点	評価	資質・能力
1	○模擬委員会の準備  ○法案・作成の準備 ・各班、示されたテーマの中から、興味のあるものを選ぶ。 ・各班、決まったテーマにおいて、どのような法案をつくりたいか考える。	・これから国会において、法案成立過程を学ぶことを見通す。 ・国会や内閣の働きについて ・国会の委員会の映像を見させて、どのようなことを行うのか示す。 ・今まで学習した現代社会の特色や人権学習の内容を活用して、グループ分けをさせる。 ・自分たちの法案の社会的背景を教科書や資料集、補助資料を活用し理解する。 [ワークシート①]		

	①グローバル化「オーバーツーリズムについて」      ②少子高齢化「高齢者ドライバーについて」 ③情報化「中学生スマートフォン所持について」      ④伝統文化「伝統文化継承について」 ⑤両性の平等「政治家の女性人数について」      ⑥自己決定権「尊厳死・安楽死について」			
2 ～ 3	○法案の作成 ・各班、決まったテーマにおいて、どのような法案をつくりたいか具体的に考える。(調べ学習)	・以下の点に注意させ、班で法案を作らせる。 ①日本国憲法に違反しない ②与党の立場として法案を通すことを意識する ③法律案の提案理由とポイントを説明する ④条文3つ以上は考えるようにする。 ・第1条目的、第2条定義や基本的理念、第3条権利や責任、国や自治体の責務、罰則等 ・それぞれの立場に沿って、主張する内容のデータなど収集させる。わかりやすく伝えるために、フリップなども準備させる。 ・法案作成が難しい班には、補助資料を与え、法案作成をフォローする。	知識・技能	共生力の知識・技能
4	○模擬委員会にむけたミニ討論を行う。 ・ミニ討論し合うグループを分ける。 Ex. 第1グループ ①グローバル化、②少子高齢化③情報化 第2グループ ④伝統文化、⑤両性の平等⑥自己決定権 ○それぞれのグループでミニ討論を始める。 ・法律案・趣旨説明(5分)	・生徒に、今後1つの内容に絞って模擬委員会を行うことを説明する。[ワークシート②] ・教室内で2つのグループで討論できるように分ける。 ・それぞれのグループで、政策を発表する班は与党、聞く方は野党になり、質問事項などを発言する	主体的に取り組む態度	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質疑応答(5分) 計10分</li> <li>※一グループ30分でミニ討論が終了する。</li> <li>○それぞれのグループで、模擬委員会を行いたい法案を一つに決める。</li> <li>○次の時間に模擬委員会を実施する法案を決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員は机間巡視を行い、次の授業でどの法案をクラス全体で話し合うのか目処をたてる</li> <li>・それぞれのグループで一つに絞った法案の説明(論点や社会的意義や背景など)を代表者に行ってもらう</li> <li>・どちらの法案を次の時間の模擬委員会で討論するか決定させる。(多数決や話し合い)</li> </ul>		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○模擬委員会を行うためのリサーチを行う。</li> <li>・野党側のグループは、模擬委員会で行う法案についてのリサーチを行う。</li> <li>・与党側は前時の質疑応答で答えられなかった部分や説明の修正、補足のためリサーチを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のミニ討論から模擬委員会で扱う法案を担当したグループは与党、それ以外は野党になることを説明する。</li> <li>・模擬委員会では、質疑、討論があるため、それらの準備を行う。[ワークシート③]</li> </ul>		
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○模擬委員会</li> <li>①法案政策班 → 趣旨説明</li> <li>②質疑 <ul style="list-style-type: none"> <li>・野党議員からの質問</li> <li>・答弁</li> </ul> </li> <li>③討論 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法案に対し、賛成・反対の立場を明確にして理由を述べる。</li> </ul> </li> <li>④採決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長(議事進行)は教員が行い、論点整理などを行いながら質疑を活発にさせる。</li> <li>・討論に関しては、反対賛成の立場を明確にさせ、反対→賛成の順に意見を主張する。</li> <li>・採決は、個人(委員)として、法案に対して可決か否決の態度を表明する。(賛成は挙手 or 起立)多数決で決める。</li> <li>・可決された法案は本会議で審議されることを補足する。</li> </ul>		
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元のまとめ</li> <li>・国会の役割や法案制定までのながれを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬委員会で行ったことを活用し、法案制定までの流れを整</li> </ul>	知識・技能	

	<p>・民主政治をさらに発展させるためには、どうすればいいか考える。</p>	<p>理し、国会の役割を理解させる。</p>	<p>主体的に取り組む態度</p>	<p>共生力の思考・判断・表現</p>
--	--	------------------------	-------------------	---------------------

(7) 評価の観点

視点①(単元の内容)

- A 法案の成立過程を通して国会や内閣の仕組みを理解し、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙などの国民の政治参加との関連について、多面的・多角的に考察、構想し、表現し、かつ自分の生活や将来の社会などに結びつけている。
- B 法案の成立過程を通して国会や内閣の仕組みを理解し、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙などの国民の政治参加との関連について、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。
- C 法案の成立過程を通して国会や内閣の仕組みを理解し、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙などの国民の政治参加との関連について、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができない。

視点②(社会的な見方・考え方)

- A 国会や内閣の仕組みや意義を対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して考えることができ、かつ自分の生活や将来の社会などに結びつけている。
- B 国会や内閣の仕組みや意義を対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して考えることができる。
- C 国会や内閣の仕組みや意義を対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して考えることができていない。